

平成十八年度 札幌光星中学校入学試験問題 国語

注意事項

- 一、 試験時間は、四十五分間です。
- 二、 開始の合図により、始めてください。
- 三、 問題は、第一問から第三問まであり、解答用紙と合わせて四枚あります。
- 四、 答えは、すべて解答用紙に記入してください。
- 五、 印刷が不明な場合のほかは、問題についての質問は受けつけません。
- 六、 試験終了後は、解答用紙回収が終わるまで、席を立たず、静かにしててください。

第一問 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

自分が友だちに本当に求めているのは何なのかということについて、一度ゆっくりと考えてみるといい。1 ただ一緒にワイワイやって面白いだけの友だちというのは、やっぱりそれだけのことであることが多い。本当に面白いのは、(a) つまらなくならないのは、大事なことを語り合える友だちだ。大事なことを語り合うのだから、信頼できる友だちだ。お互いに、その大事なところが大事なことをわかっていっているとわかっているから、信頼し合うことができるんだね。こういう友情というのは、本当にいいものだ。大事なことによってつながっているのだから、壊れるということがないんだ。

よく、「友情が壊れた」って言う人がいるだろ。でも、壊れるような友情は、本当の友情じゃなかったんだ。本当に大事なことはなくて、何らかの損得でつながっていただけなんだ。あの人と友だちになると、こんなふうに得で、こんなふうに損だとか、そんな計算を友情だと間違えていただけなんだ。

(b) 最もわかりやすい例としては、「お金」、君がお金をたくさん持っていて、いろいろおごってくれるからって寄ってくるような友だちは、君のお金がなくなれば、たちまち去って行くだろう。君はその時、(c) と怒るだろうか。そりゃムリだよ。だってそんなのは最初から友情じゃなかったんだから。さて、君にとって、お金は友情よりも大事なものです。

本当の友情、3 本当の友だちこそがほしいのだけど、いない、と悩んでいる人が多いみたいだ。でも、いなければいけない、見つかるまでは一人でいいと、(d) 思えないのだろうか。

一人でいることに耐えられない、自分の孤独に耐えられないということだね。(e) 、「自分の孤独に耐えられない人が、その孤独に耐えられないために求めるような友だちは、やっぱり本当の友だち、本当の友情じゃないんだ。本当の友情というのは、自分の孤独に耐えられる者同士の間でなければ、生まれるものでは決まてないんだ。なぜだと思おう？」

自分の孤独に耐えられるということは、自分で自分を認めることができる、自分を愛することができるということだからだ。孤独を愛することができるということは、自分を愛することができるということなんだ。そして、自分を愛することができない人に、どうして他人を愛することができるだろう。一見 4 それは他人を愛しているように見えても、じつは自分を愛してくれる他人を求めているだけで、その人そのものを愛しているわけでは本当はない。愛してくれるなら愛してあげるなんて計算が、愛であるわけがないとわかるね。

孤独というのはいいものだ。友情もいいけど、孤独というのも本当にもいいものなんだ。今は孤独というイヤなもの、*1 逃避か引きこもりとか思われていないけれども、それはその人が自分を愛する仕方を知らないからなんだ。自分を愛する、つまり自分で自分を味わう仕方を覚えると、その面白さは、つまらない友だちといることなんかより、はるかに面白い。人生の大事なことに、心ゆくまで考えることができるからだ。

考えるということは、ある意味で、自分との対話、ひたすら自分と語り合うことだ。だから、孤独というのは、決して *2 空虚なものではなくて、とても豊かなものなんだ。もしこのことに気がついたなら、君は、つまらない友だちと過ごす時間が、人生においていかに空虚で無駄な時間か、わかるようになるはずだ。ただ友だちがほしいって外へ探しに行く前に、まず一人で座って、静かに自分を見つめてもらえ。

そんなふうに自分を愛し、孤独を味わえる者同士が、*5 コウウンにも出会うことができるなら、そこに生まれる友情こそが素晴らしい。お互いにそれまで一人で考え、考え深めてきた大事な事柄について、語り合い、確認し、*3 触発し合うことで、いっそう考えを深めてゆくことができるんだ。むしろ全然語り合わなくたってかまわない。同じものを見ているという信頼があるからだ。

本当の友情を知るということは、人生のひとつの *6 ヨロコビだ。うわべの付き合いだけの友だちの多さなんかより、たった一人でも、君はそういう友だちを見つけた方がいい。大丈夫、そう思っていれば、必ずそれは見つかるよ。*7 それまでは君は、自分の孤独を、うんと豊かにして待っているんだ。だって、そうでなければ、素晴らしい友だちが現われた時、君は彼に伝えることができないじゃないか。

(池田晶子『14歳からの哲学』)

*1 逃避しなくてはならない困難なことから、逃げ隠れすること。

*2 空虚に空っぽで何も無いこと。

*3 触発し何らかの刺激を与えて、ある意欲・行動などをさそい起こすこと。

問一 線2「ムリ」・5「コウウン」・6「ヨロコビ」を漢字で書きなさい。

問二 線1「ただ」はどこにかかっていますか。もっともふさわしいものを次の中から一つ選んで、記号で答えなさい。

ア ワイワイやって イ 面白いだけの ウ それだけの エ 多い

問三 (a)・(d)に入れるのにもっともふさわしいものを次の中からそれぞれ一つ選んで、記号で答えなさい。

ア なぜ イ もし ウ 決して エ まさか

問四 (b)・(e)に入れるのにもっともふさわしいものを次の中からそれぞれ一つ選んで、記号で答えなさい。

ア でも イ また ウ そして エ たとえば

問五 (c)にあてはまることばを本文中から六字で抜き出しなさい。

問六 線3「本当の友だち」とはどのような友だちですか。それを——線3より前の部分から、十字以上十五字以内で抜き出しなさい。

問七 線4「それ」の内容に合うものとして、もっともふさわしいものを次の中から一つ選んで、記号で答えなさい。

ア 自分の孤独に耐えられない人が、その孤独に耐えられないために友だちを求めること。

イ 孤独を愛することが出来るということは、自分を愛することが出来るということ。

ウ 本当の友だちがほしいのだけれど、いないと悩んでいること。

エ 自分を愛することができない人は、他人を愛することができないということ。

問八 線7「それまでは君は、自分の孤独を、うんと豊かにして待っているんだ」とありますが、「自分の孤独」を豊かにするには何が必要ですか。次の二つの語句を用いて、四十字以上五十字以内で答えなさい。

(語句) 人生 語り合う

問九 本文の内容と合っているものを次の中から二つ選んで、記号で答えなさい。

ア お金をたくさん持っているような人とは、信頼できる友だち同士にはなれない。

イ 本当の友だちがほしいと悩むよりも、静かに自分を見つめることの方が大切だ。

ウ 本当の友だちがほしいければ、考えこまずに、相手を外へ探しに行くべきだ。

エ お互いにそれまで一人で考えてきたことを話し合うだけで、本当の友情は生まれる。

オ 一人でいることに耐えられなければ、本当の友情は見つけることはできない。

第二問 次の1〜5の文の——線と同じ漢字を書くものを、それぞれア〜ウの中から一つずつ選んで、記号で答えなさい。

1 箱はこのふたをあける。

ア 家いへをあける。

イ 窓まどをあける。

ウ 夜よるをあける。

2 国くにに税金をおさめる。

ア 商品しやうひんをおさめる。

イ 成功せいこうをおさめる。

ウ 国くにをおさめる。

3 正方形せいじやうけいの面積めんせきをはかる。

ア 時間じかんをはかる。

イ 体積たいせきをはかる。

ウ 長さながさをはかる。

4 明るあかるくふるまうようつとめる。

ア 会社かいしゃにつとめる。

イ 司会しかいをつとめる。

ウ 完成せいせいにつとめる。

5 てあつい看護かんごを受ける。

ア あつい夏。

イ あつい本。

ウ あつい湯。

第三問 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

「撃ち殺さないでほしいんだけど」と、佑介は言った。
「なんだと？ 畑を荒らされても放っておけというのか」
それを聞きつけた農家の人が言った。

「どうせ都会の子だろう。」¹ 田舎の人間の気持ちなど、わかりっこない。このクマは、オレたちが暮らしていくための大切な作物を盗んでいるんだぞ」²

「それは人間が木をみんな切り倒して、クマの大切な森を奪ったからでしょ？」
思わず言い返すと、農家の人は佑介をにらみつけた。

「ははあ、おまえ、あのガイジンにくつついてる小僧だな？ 言っとくが、オレたち日本人はあんな弱腰じゃない。クマは害獣だ」³

「そういう言い方はやめてください」と、だれかが言った。それは、地元の学校の若い先生だった。

「だいたい、あなたは、畑を電気柵で囲んだ方がいいと、まわりの人が何度も助言しているのに、なぜ、いつも」⁴ 耳を貸さないんですか？」

「⁵ あんたは百、姓じゃないから、なんにもわかつちやいなんだ」

おとなたちが言い争いをしている間に、佑介と幹男は、騒ぎの輪から離れた。

「どう思う？」と、佑介が聞くと、幹男は石ころを蹴飛ばして肩をすくめた。

「オレは、悪いことをしないかぎり、そっとしておいてやればいいと思う。うちのおじいさんと父さんは、クマを怖がらせて、トウガラシのスプレーを浴びせてから山へ放してやればいいと言っていた。母さんも、もつとクマについて調べた方がいいって。だけどみんな、おじいさんのところへ来ては、クマをどうにかしろと言うんだ。佑介はここの人間のことを知らないだろう。みんなものすごく頑固なんだ。オレはクマが好きだ」

「あのクマ、殺されちゃうかな？」

幹男は、口をつぐんでしまった。おとなたちはクマを射殺するつもりなのかもしれない。佑介は、クマのことで頭がいっぱいになった。⁶ さつき、目を見た時に感じたのだ、あのクマはぼくに何かを訴えようとしていた。

もし、ぼくがあんな檻の中に閉じ込められたら、どんな気持ちだろう。おいしそうなハチミツの匂いに誘われて、がまんできずに近づいたら、それは畏だった。気がついた時には、殺される運命だ。森も、自由も、すぐ手の届くところにあるというのに……。

⁷ いてもたってもいられずに、佑介は、自転車でモーガンさんの家へ向かった。話を聞いたモーガンさんは、深くため息をついた。

「ぼくも、ユースケとまったく同じ気持ちです。ちょっと努力さえすればクマを殺さなくてすむ。畑のまわりに電気フェンスをつけるとか、クマが食べないものを作るとか、もつとクマの研究と保護に金をかけるとか。何年も何年も、同じことを言い続けてきた。疲れたよ。だれもこの年寄りのガイジンの話を聞くとはしないんだ」

モーガンさんは、佑介の膝をポンとたたいた。「そんなに気にしないで。君のせいじゃないよ」
けれど、佑介の頭の中には、さつき見たクマの悲しげな目が、何度も何度もよみがえってきた。

夕食のあと、佑介はこっそり家を抜け出した。もう一度だけあのクマに会って、「――」と言いたかったのだ。

畑に着いた佑介は、トウモロコシの間に自転車を隠した。そつと檻に近づくと、まわりにはだれもない。クマだけがポツンと立って、こちらを見ていた。檻の脇には軽トラックが一台。幹男のおじいさんの車だ。きつと、幹男のお父さんが乗ってきたバンので、一緒に帰ったのだろう。

車の中をのぞくと、床に大きなカギの束が落ちていた。幹男のおじいさんが落としたのかもしれない。そのうちの一つが
*1 南京錠のカギだということに、佑介は気づいた。

あの檻のカギだ！ そう思ったとたん、手がひとりで動いていた。⁸ まるで、体の中に別の人間が入り込んで、自分を操っているような感じた。そのカギで檻の戸を開け、束ごとトウモロコシ畑に投げ込む。

軽トラックの荷台にあったベニヤ板の切れ端を檻の上に置くと、クマが低くうなった。掛け金をはずし、ベニヤ板の上に立って、そろそろと檻の戸を持ち上げる。そして、戸が開いた瞬間、後ろへ飛び降りて軽トラックめがけて走った。車の中らじつと様子を見守る。

クマはのっそり檻の外へ出てきた。しばらく鼻をひくつかせていたが、突然、ものすごい勢いでトウモロコシ畑を駆け抜け、

9 木立の奥へ消えた。

佑介は今になって怖くなり、もう檻のところへは戻れなかった。急いで自転車に飛び乗り、家まで逃げ帰ると、10 布団の中で震えた。

(C. W. ニコル『魂のレッスン』)

*1 南京錠 II 金属製のカギで開ける錠。

問一 —— 線1「田舎」・2「作物」・9「木立ち」の読みをひらがなで書きなさい。

問二 —— 線4「耳を貸さない」・7「いてもたってもいられずに」の意味としてもっともふさわしいものを次の中からそれぞれ一つ選んで、記号で答えなさい。

4「耳を貸さない」

7「いてもたってもいられずに」

ア 注意深く聞かない

ア 良い考えが思いつかずに

イ 協力しようとしめない

イ じっと落ち着いていられずに

ウ 理解しようとしめない

ウ 急いで行動することができずに

エ 人の言うことを聞かない

エ 悲しみをこらえることができずに

問三

—— 線3「あなた」・5「あなた」とはそれぞれだれを指していますか。本文中から抜き出しなさい。

問四

—— 線6「さつき、目を見た時に感じたのだ」とありますが、「目」とはどのような目ですか。本文中から五字以内で抜き出しなさい。

問五

「()」に入れるのもっともふさわしいものを次の中から一つ選んで、記号で答えなさい。

ア もう二度と悪さをするなよ

イ なんにもしてやれなくてゴメン

ウ 逃がしてやるから、もう少し待ってろ

エ お前、殺されちゃうんだぞ

問六

—— 線8「まるで、体の中に別の人間が入り込んで、自分を操っているような感じた」とありますが、どういふことですか。もっともふさわしいものを次の中から一つ選んで、記号で答えなさい。

ア 意志の弱い自分を情けなく思う気持ちになっただけのこと。

イ 自分の行動を他人のせいにならんと考えているということ。

ウ 無意識のうちに自分が行動を起こしているということ。

エ 自分の行動をまわりの人に見られないように注意しているということ。

問七

—— 線10「布団の中で震えた」とありますが、それはなぜですか。もっともふさわしいものを次の中から一つ選んで、記号で答えなさい。

ア 自分のやったことがとんでもないことだと気がついたから。

イ 幹男のおじいさんに怒られはしないかと心配したから。

ウ 熊を逃がしたのをだれかに見られたのではないかとおびえたから。

エ 逃がしてやった熊におそれおびえはしないかと不安になったから。

問八

この文章から読み取ることが出来る佑介の性格として、もっともふさわしいものを次の中から一つ選んで、記号で答えなさい。

ア さまざまな意見を良く聞き入れ、そこから最も良い解決の道をさがす冷静な性格。

イ 人間の都合のいいように自然の生きものを考えている人たちに反対するやさしい性格。

ウ 自分の意見を持つことができず、他人の意見にすぐに左右されてしまう性格。

エ 周りの意見を聞きこうとするが、自分の思ったことをつい行動に移してしまう性格。